

都市科学シンポジウムについて

都市科学部は、設置より毎年度、「都市科学シンポジウム」を開催してきました。2050年には世界人口のおよそ3分の2が都市に集中すると予測されています。これからも拡大し続ける都市には以下のような社会課題があります。農村から都市への人口移動、国際移動、開発、格差、スラムの問題、人口減少社会、高齢化社会、防災・災害、地球環境・エネルギー問題などです。また、外国の方々、障がいを持たれた方々、子どもや高齢者の方々とともに共生できるまちづくりも求められており、ジェンダーやエスニシティへの理解を深めていく必要があります。複雑に交錯する社会課題に向き合うためには、グローバルとローカルの視点、文理融合の視点が不可欠です。

都市科学シンポジウムを通し、都市に関わる社会課題に向き合い、文理融合の視点より複眼的に分析・考察することを通し、都市科学／部が担うミッションをより明確にします。

都市科学部長・教授 藤掛洋子